

刊夕日二月二



定額 一部全額 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元
廣告料五割 電話一五五五
日曜祭日の翌日休刊
発行所 常盤毎日新聞社
印刷所 常盤毎日新聞印刷株式会社

昭和二年一月中の運勢吉凶(二)

五聖閣主 熊崎健翁

かのえ年生の人(十五、廿五、卅五、四十五、五十五)
前月は良い月で御座いました。今月は諸事障害多く、妨礙、病厄損耗の暗示が強く、人に依つては酒の爲めに失敗を起したり、權に驕つて批難を蒙る傾きがあります。故に萬事控へ目に夫婦相扶け、子女の健康に注意し、來るべき良月に備へることが大切であります。然し何と申しても年運が良しいのですから、感情の激發を抑へ、誘惑に陥らぬやう心掛ければ大過無きを得るであります。

つちのえ年生の人(十六、廿六、卅六、四十六、五十六)
先月の凶運に引較べて今月は又何と云ふ幸福に恵まれます。

ノート

椿の花を生ける時は花の中

つちのえ年生の人(十七、廿七、卅七、四十七、五十七)
兎角良い後は悪いことは運命の常であります。先月は新年早々から幸運の神様

屏風

屏風よりのぞく赤子の寝顔かな
立てかけし屏風に洩るゝあかりかな
繪屏風のかげに爪弾く女かな
客の間の掃き清めて屏風あり
無難作に春着かけある屏風かな
祝言の主客まばゆし金屏風
縁日の人出影あり金屏風
屏風文字讀みかねて眼鏡拭ひけり
いたつきて四季の花見る繪屏風

鐘樓 曉美 紅果 良亭 秀峰 十絲 千鳥 湖晴

色情を注意致しませんと、とんだ禍を醸し易い月です。ひのえ年生の人(十九、廿九、卅九、四十九、五十九)
前月に較べると今月は一寸と落ちた運気で御座います。でもまづ半吉と云つた處です。萬事獨一單行の暗示があり、權に走つて争論を起し、情に偏して不和を醸し易いけれども、それを醸し易いけれども、それを醸し易い、何事も平和第一に、自我心を擱めて進めば反つて權威信用を増して吉であります。分家、養子相續、支店設置等には良い月であります。

【朝】味噌汁——里芋
【晝】白あへ——人蔘
【晩】椀——半べん 三つ葉のすまし汁

にも凶であります。然し藝術技機花柳に關した仕事にある人は、反つて好現象を來すと云つた偏運月とも申す月であります。故に一般人は諸事戒慎を第一に進むべきであり、以上のやうな特殊な階級に置かれた人は進んで相當の効果を上げ得るでせう。

ひのと年生の人(十八、廿八、卅八、四十八、五十八)
先月來からの凶運で御氣の毒の至りですが、それでもこの節分からは年運が良くなりましたから、先月程の事も御座いますまい、兎も角夫婦間の不和だの、損失、離散だの、凶暗示に富んでおりますから、諸事言動を慎み、柔順と平和を守り家庭の圓滿に勉め、損失を防ぐことが第一です。又

木村外科病科專門醫院

平町五丁目橋際
電話三〇九

たひら正宗

美味! 芳醇!
山崎合名會社
電話一〇番

平看護婦會

平町南町
電話三〇七番

三井質店

御融通には! 是非御利用を.....
萬事便利な御相談に應じます。
平四・電六〇六番

旭硝子株式會社製品 板ガラス

製造 販賣
硝子 食器
硝子 食器
其他各種

松崎硝子製作所

平町新川町(電話一四二番)
支工場 仙臺市榮町(電五九七番)

喜多流謠曲と仕舞の お稽古をお勧め致します

平町町六九
喜多流 仕舞 白土會
電話一二七番

共榮漆器店

舊正 初賣の景品御準備
本年は漆器の他に小雜貨類も取揃へ御便宜を計り極力奉仕勉強致します故是非本年も御愛顧御引立を御願ひ致します。
必す格好な品がありますから御照會下さいませ。
平町三丁目北裏通り
各國産漆器 記念表彰品 恩賜賞品 進物贈答品 景品賞品類
外交員 至急募集
電話一一四番

盛況を豫想さるゝ 縣社々頭の二豆まき

巷に満つる「春近し」の響き

福内會が大奮發

幾多歡樂の想ひ出を残して「新正月」は己に流れ去りカレンダーは今日
二月の二日を示して
ある明日は愈々節分「福は内鬼は外」と巷の小路家々から聞えてくる豆まきの交響樂を耳にすると永い忍従の冬が去つて春が来たといふ何かなし懐かしい感じがするさ節分豆まきの
儀式は、年々歳と共に影薄くなりゆく年中行事の中にあつて今尚ほ節句七夕月見などに共に残つて滅びゆく年中行事のために意氣を見せてゐる節分—立春前一日を節分として選ばれた
歳男が、歳徳の方へ向つて豆を撒いて福を迎へ歳徳を背にして豆を撒き鬼を追ふ之を追儼(おにおほい)と云ふ—と物の書にもあるが此の頃では大分趣向も變つて東京などでは水天宮様がレビニュー俳優映畫スター等を歳男にして華やかにやつてゐる
當地方でも數年以前から石城福内會が組織されて年々之が主宰となり追儼祭豆まきが舉行されて

無競争で 木炭議員決定

既報濱三郡木炭同業組合では昨日午前九時から平町の組合事務所及び双葉、相馬兩支部に於いて代議員定員三十二名の選舉を行ったが定員外の立候補なく平凡裡に左記三十二氏が當選した
既報濱三郡木炭同業組合では昨日午前九時から平町の組合事務所及び双葉、相馬兩支部に於いて代議員定員三十二名の選舉を行ったが定員外の立候補なく平凡裡に左記三十二氏が當選した
崎榮喜知、齊藤甫、但野清志、佐藤勝榮、郡之重永谷清太郎、佐藤傳信
共同米入札
昨日の結果
既報石城販賣利用組合平農業倉庫の共同販賣は昨日午前十一時より執行草野村農會の百七十俵は五等建値八圓十五錢で平町馬目玉彌氏に勿來町の七十四俵は八圓三錢で内郷村遠藤清造氏に平町の百三俵は八圓十五錢で磐城糧食部に神谷村の百五十俵は八圓十錢で同じく磐城に夫々落札した
第一主任會議 平第一小學校で昨日午後二時より學年主任會及び専科協

紛争中の 町有地問題

酒井氏が折れて 圓滿に訴訟取下

永らくの懸案であつた平マケットの町有土地は種々の経緯あつて賣却交渉が纏らず平町は遂に業を煮やして千葉辯護士を法定代理人とし借地人たる酒井平陽女學校長を相手取つて訴訟を提起するに至つたが其後酒井氏側が折れて和解を申出た爲め土木委員が其の折衝の任に當つた結果當初の買取申出價格の八千五百圓よりも五百圓高値の九千圓に買收し訴訟費用を負担する事に酒井氏が納得した爲め本日の町會に提案満場一致を以つて可決し前記町有地土地の賣却を決定兩者間の訴訟は圓滿和解し取下げる事となつた

災害復舊 工事開始

監督技手來平

縣では濱三郡の災害復舊工事を工費三十一萬八千圓にて八年度より四ヶ年繼續事業として施工する事となり事業監督の爲め榎本幸一郎技手が來平全郡下及び双葉郡の一部の工事監督に當ると

中等生の 取締協議

けふ平商で

既報平町各公私立學校生徒校外取締協議會は本日午後二時より平商會議室に於て開かれたが出席者は各學校係教諭二十餘名にて當番校平商の提出題たる左の件を中心として種々協議した

平百面鏡

羽子板と 破魔弓勉強

四丁目スガノヤ提灯店では目下羽子板と破魔弓の賣出し中であるがいづれも嶄新で値が安く頗る人氣が良い
新車購入
尼子自動車
運搬二丁目三井はき物店跡に移轉した尼子タクシー部は新車を購入し乗客本位の

音頭類の レコード到着

サレビス正に百パーセントである
五丁目金光堂時計店に東京音頭、昭和音頭を始め最新レコード到着非常な賣れ行き振りを示してゐる
平町人事
回死 亡
△鎌田町四三 當時東京市
△古鍛冶十伴三郎氏二女長
瀨照子(二〇〇)

内科一般

難波陸

醫學博士
平町大町新川端
電五〇二

天室洋品店
平町通電話六五六番

津浪の襲來と共に 敵機上空に飛來す

平町各要所警備の演習

警察部長が 非常召集決行 突如來平し

渡本縣警察部長は今晚午前二時警察部員數名を隨へて突然來平し同二時四十二分平署

全管内 及び四倉、植

田、富岡、小野新町の五署員百十四名の非常召集を行つたが四倉署を先頭に、同

五時五分自動車で駆け付け小野新町署員十一名を最

後として應召直ちに「昨夜石城地方海岸に大海嘯襲來

し

避難民は續々として平町に入り込んだが大平洋

上より敵飛行機が襲撃避難民及び各官衙公所其他を爆

撃する」との想定のもとに是等避難民の救護及び市内警備に當るべく全員を以つて中隊を組織し横山平署長を中隊長とし

各署長を小隊長に當て更らに豫備の私服隊を編成して避難民を第三小學校に收容する外市内各官衙、公所、停車場、郵便局、發電所、米穀倉庫等の警備演習を行ひ午前八時全員の操練、九時より警察部長の講評あつて午前十時

終了したが成績は先に決行した福島、若松よりも良好であつたと

燃える屋根

年々減少する

屋上制限の徹底ぶり

平署管内で屋上制限を適用する平、湯本、小名濱、江名四ヶ所の昨年度に於ける屋上葺調査に依ると戸數總計一萬二千八百三十三戸のうち不燃質の瓦スレートを使用する家屋は九千三十二戸にて葺、木葉等を使用する家屋が未だ千二百五十一戸あり年々減少しつつあると

交通事故

死傷調査

平署に於ける昨年中に取扱つた交通事故死傷者は事故三十一件のうち死者七名、負傷者三十一名を出して居るが自動車に依る死傷者が最高で事故十八件のうち死

者二名、負傷二十二名を出し鐵道は六件のうち死者四名、負傷が二名、荷車が二件、死者、負傷各一名オートバイ、馬車が各負傷一名

縣を欺いた

溜池工事の公判

懲役一年六ヶ月を求刑

既報双葉郡富岡町元同町大字毛管及び下郡山耕地整理組合長佐藤徳右工門(五)が去る四年の

風水害に 堤防の破壊した溜池三ヶ所の復舊工事に際し總費用三千七百圓にも拘らず 萬二千圓を要した如く装ひ本縣より約八千圓を

詐取した 事件の公判は昨日午後一時より平支部に於て中島判事係り、永根(相馬)關口兩判事陪席、清田檢事立會、永野、門傳、真木、北川(福島)各辯護士

列席の下に開廷事實訊問の上檢事より懲役一年六ヶ月を求刑され各辯護士の無罪論あつて午後四時半閉廷したが判決言渡しは來る六日午前九時である

基督教

婦人會

基督教婦人會では二月三日午後一時から平町十五丁目日本キリスト平教會で例会を開催するが中村月城牧師

自動車の進出に

人力車孤影淋しく

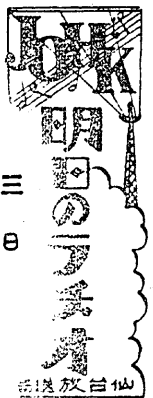
最も多いは自轉車の六千台

平署の車台取調べ

平署管内各町村の車臺數に依ると最も多いのは自轉車の六千八百八十四臺で次ぎは荷車千二百三十七臺、荷馬車が四百十八臺、自動車百六十七臺、オートバイ廿四臺、人力車二十二臺等であると

皆川氏水戸へ

平町柳町元平驛助役皆川恒徳(舊名元)氏はナミ子夫人(元警女教諭)の病氣療養の爲め廿年來住み馴れた平町を後にして水戸市に歸郷する事となり四日午前十時四



明日のニュース

今晚も明日も北風
の風雲小雪

今晩の部
後六、〇〇(子供の時間) 獨唱 永岡志洋子 伴奏 東京サロネーオーケストラ
國境警備 安の夕(京城より中継)
後七、三〇 講演「國境守備隊の現状」朝鮮軍參謀長陸軍少將 人串敬吉
後八、〇〇 俚謡「境警

備の唄」唄 小雪 三味線 粹也
後八、三〇 琵琶「本能寺」 佐藤錦錦
後九、〇〇 浪花節「大谷刑部」筑波雲
後九、三〇 時報 ニュース 氣象通報 番組豫告
明日の部

前七、〇〇 基礎獨語
(一) 橋本忠夫
前九、一〇 料理献立「タシキムチ」朝鮮料理 成田玉純
前一〇、三〇 家庭講座「編物」(三) 山脇敏子
後一〇、〇五 俚謡唄 壽才三
後一〇、〇〇 皇太子殿下御誕生女子奉祝大會實況 日比谷公會堂中継
後二、〇〇 家庭講座「長唄のお稽古」(二) 果家彌七
後五、三五 受驗講座「漢文」黒羽英男

後六、〇〇(子供の時間) お話「節分」柚木卯馬
後六、二五 基礎佛語講座 (六) 目黒三郎
後七、三〇 時事解説 内務省警保局長 松本學
後八、〇〇 節分追進式實況 浄土宗大本山増上寺より中継 導師増上寺法主大僧正 道重保教 外山大衆
後八、四〇 歌澤「梅が香」(紀伊の國)唄 歌澤寅松
三味線 歌澤寅小滿
後九、〇〇 舞臺劇「三人吉三巴白波」片岡我童

不良紫團

小名濱で檢舉

小名濱町字船引場松木勇(一)同町竹町西井庄吉(二)同字鈴木廣(三)山田留雄(四)いづれも假名(四)名は昨年夏以來紫團と稱する不良團を組織し町内を荒して居た事判明此程小名濱警部補派出所で取調中であるが窃盜十二、三回を行つて居ると

裁判所だより

十一分平驛發で出發する
△平町字古鍛冶町矢内著(三)は去月三日無免許の空氣銃を使用し内郷村小島田圃に於てモズ一羽、雀四羽ヒヨドリ一羽を各捕獲し狩獵法違反として罰金十圓に本日平區裁判所に於て略式命令を以て處分された
平職業紹介所報告
回人を求める方
△三助 五十以下 日一圓
外面談
△給仕 十五才 尋卒 日三十錢位
△兒守 十三才 尋卒 月三四圓
△粕々夫 三十才 月十圓
外面談
回職を求める方
△土工夫 三十四才 尋卒 給料面談
△木工職 二十三才 高卒 給料面談
△土工夫 四十一才 高卒 給料面談

一冊の代金で 御希望通りな 五冊の雑誌が 自由に讀める

川崎文庫

電六三〇番

(申込次第規則書進呈)

美味で!
評判の……

電 352

イワキ
サロン

銘劍秘又録

【禁無斷轉載上演映畫】

寶井馬琴 演
山本英春 畫

第四百十八回 徳川家に崇る村正

一家波瀾のもと

新「おその、お前は何が苦情かい」

そ「旦那の前で恐れ入りますが、男といふものは總じて對手が出来ますと、自然とその者に気が奮はれますもので、まだ一早ようございませう二十四五になりましても遅うはございませう、マア四五年は止した方が宜しうございませう」

と藪から棒の語に新兵衛も少しく不満足

新「私が取り極めた縁談をれをお前不満足といふのかい」

そ「い、え不満足と云ふ譯ではございませうが、今から女房を持たして子供でも出来ると、却てそれが爲め孝行をしようと思つても、そうは往かないものでございませうから……」

新「馬鹿な事を言はつしやい、一日も早く子供でも拵へて呉れ、ば私も安心をする、初孫の顔を見ると云ふのが私の楽しみだ、そんな不満足がましい事を云ふなれば、何か新藏に就いて意見でもあるのか、お前の氣に入らんことを新藏がしたのか、申分があるなら言ハ

さい、今日は黙つて居られないから」

新「い、えあなたがそう仰しやつて下さいませうと、誠に恐れ入りますが別に不満足はございませう」



うございませう、一日も早くそうしてやつて下さいと言つてこそ、親子の情だ、さう云ふ事で見ると私は此の先が案じられる、新藏は早く女房を持たせませう」

新「い、エ、もう私は何も云はないどうぞせ私は此の家の下女だ、お前の乳母に來たのだ、それを……」

新「大きな聲をさつしやるな、年甲斐もない」

そ「宜しうございませう、どうぞせ私は年甲斐もございませうよ……」

新「何に、斷る」

新「ハイ一家睦まじくございませうければ整理の立ちませうものでございませう、生意氣な様な事を申す様で恐れ入りますが、阿母さんが不満足でございましては

せんよあなたはやゝと申すれば、新藏ばかり可愛がつて、金次郎もあなたの子でございませうか、それをあなたがそう云ふ御了簡なら、モウ私はお暇を頂いて何でございませう、淵川へ身を投げるか、首でも縊りませうから……」

弟の金次郎は

金「阿母さん、マア何を言ふのです、お父さんや兄さんが喜んでお話をして居るのを、あなたがさう仰しやつて下さいませうとこの金次郎が迷惑いたしますから、共々にあなたも喜んで一日も早く結納の取交せも済むやうにと仰言らなければなりません、平生からさう云ふ思召でございませうから私ほどの位、胸をいためるか知れませう」

と金次郎は惻口者でございませうからお袋の袖を引きますが、おそのの腹の中は燃えるやうで俄かに顔色を變へてふくれた顔はあんまりいゝものぢやございませう、新藏は頭を下げまして

新「誠ににお氣に障るやうな事を申上げて恐れ入りました、お父さんどうか此の縁談はお断り下さいませうやう」

新「ナニ構ひませう、それで悪ければおそのの方はどうでもする、實は親類二三の方は竹内から話すつもりシテ見れば八分通りまともつて居る縁談、今茲で断はるといふ事は出来な、直ぐに縁談の事に取掛るからさう思つて、おそのお前は悪ければ何處へでもお出で……」

言ひ放されておそのはワツと泣き出した、どうも此の泣き顔と云ふものは美しい女の泣いたのなら、海棠に夜の雨を含た様だといひまして、又見所もございませうが、並みの女の泣いたのはあまり宜いものでもありません、金次郎は阿母の手を引いて次の間へ参ります

新「ナニ構ひませう、それで悪ければおそのの方はどうでもする、實は親類二三の方は竹内から話すつもりシテ見れば八分通りまともつて居る縁談、今茲で断はるといふ事は出来な、直ぐに縁談の事に取掛るからさう思つて、おそのお前は悪ければ何處へでもお出で……」

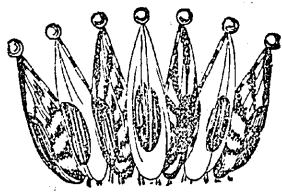
科人婦・科外 院醫坂井

町田町平
番九五五話電

天壤無窮 萬歳萬々歳 瑞光燦として輝く

皇太子殿下御誕生奉祝を二月の吉日を撰れ行はせらるこの

佳き日の御使用の提灯



祝 奉

下殿子太皇
生誕御

軒提ケ 行列用

各種提灯は

スガノヤ提灯店へ

平一丁目 電九五

貸切の御用命は!!!

獅子吼(四四九ノ勢)

眞先ニ……(マツサキ)

三九二タクシーへ!!!

御會葬御禮

天徳院送葬ノ際ハ遠路ノ處御會葬被成下且ツ御鄭重ナル御香典ヲ賜ハリ御厚志ノ段難有奉深謝候拜禮可申ノ處乍略儀以紙上御禮申上候敬具昭和九年二月二日

親戚總代

新關内 妻正正
鈴木木内 妻正正
加納木内 妻正正
新木村 妻正正
渡邊 妻正正
金 治盛